



ゲーム 子ども応援団事業 Part6

好きから未来が見える

ー若者の経験値を上げる 社会サンカクの場づくりー

『若者や子どもたちは人と社会とつながりたいと思っている。』

さあ、大人は何ができる?
居場所を見つけた若者たちが、社会参画したいと思うようになる
サンカクシャの寄り添い方とは?

前半はサンカクシャ代表の荒井さんに実践についてお話し頂き、
後半はパネリストも交えて我孫子の若者や子どもたちの「今」と
「これから」について語り合います。



サンカクシャ代表
荒井佑介さん

2022年9月25日(日)13:30-16:20

我孫子南近隣センターホール(けやきプラザ9階、JR我孫子駅南口徒歩3分)

入場無料 会場70人・Zoom100人予約優先

お申し込みは右のQRコード、または下記のお電話で →

お問い合わせ 04-7165-4370 (あびこ市民活動ステーション)

スリッパを
ご持参ください



市民のチカラまつり2022 同日開催



主催:子ども応援団事業実行委員会、あびこ市民活動ネットワーク、あびこ市民活動ステーション
後援:我孫子市教育委員会



(サンカクシャのHPより)

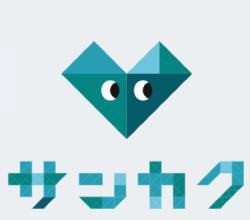
サンカクシャは、学校や社会に馴染めない15～25歳くらいの若者が、社会で生きていくために、経験値を獲得できる機会を作っています。人とつながり、自分を応援してくれる人と出会える「タマリバ」と何かにチャレンジするための「サンカク」の機会を作り出し、若者の経験値が上がるよう応援しています。また、地域や企業の大人もこの活動に「サンカク」し、人のつながりを活かし、共に生きていくコミュニティになることを目指しています。



「知らない人と会うのが怖い」「活動に参加するのが不安」など活動に参加することへのハードルを感じる若者には、職員が個別で会い、寄り添います。若者に「届く支援」を大切にしています。



若者が素の自分でいる、自由に過ごせる居場所を都内3拠点で運営。あたたかいごはんがあり、好きなようにくつろげる一方で、人と繋がり、社会「サンカク」するきっかけも得られます。



地域や企業の人との交流や、働く体験、働き続けるを支えるプログラムなど、社会「サンカク」につながる体験と挑戦の機会を用意。他にも親を頼れない若者へ居住支援も実施しています。



社会的自立へ

パネリスト紹介



遠藤美香さん

我孫子市教育相談センター 所長

どこにいても子どもファースト。
子どもたちが我孫子市で育つ
よかったですと思えるような仕事をして
いこうと思っています。

鈴木将人さん

我孫子市子ども相談課 課長

相談してくれた子が、
10年後に笑って過ごしていて、
生きていて良かったと感じられる人生を
歩んでくれたら良いな。
この思いを持って相談をうけています。



コーディネーター
関口隆彦さん

多機能型事業所 エール我孫子

いま我孫子で暮らしている子どもが、
大人になっても「我孫子が好きなんだ」と
心から思える街であって欲しい。
この気持ちから我孫子で子ども・若者に
関する活動をしています。



子ども応援団事業実行委員会

■実行委員

青空の会(我孫子)

大人たちから変わろうの会

かしわ地域若者サポートステーション

子どものSOSソングライター 悠々ホルン

就労継続支援B型事業所 みんなの広場「風」

千葉県スクールソーシャルワーカー

認定NPO法人東葛市民後見人の会

我孫子市教育委員会教育相談センター

我孫子市子どもの学習支援ネットワーク

■事務局

あびこ市民活動ステーション

あびこ市民活動ネットワーク

(五十音順)